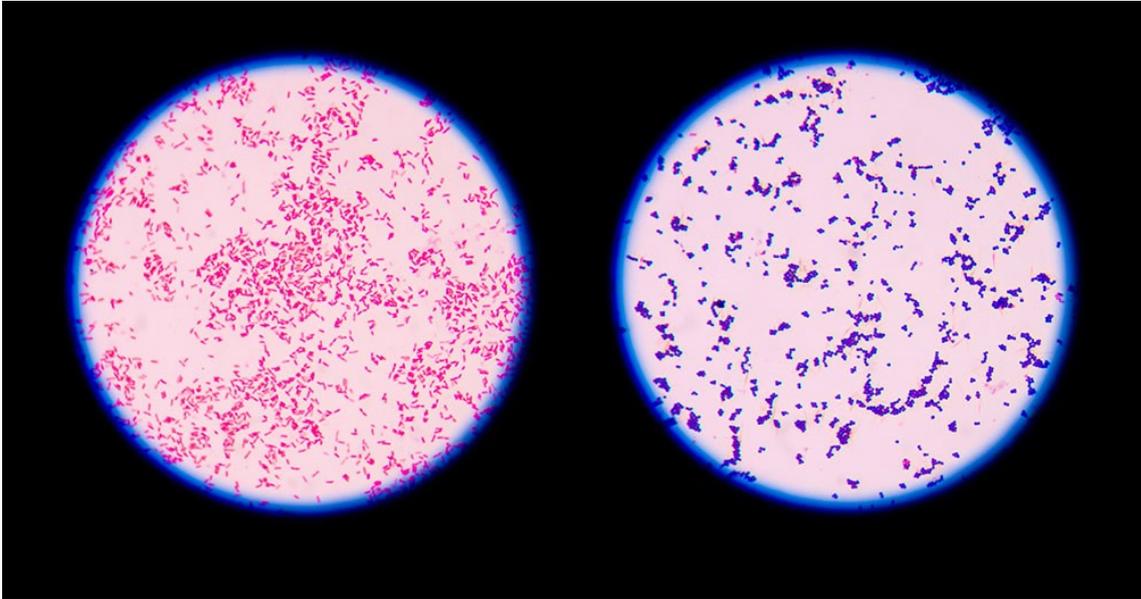


グラム染色 ベストプラクティス

2019年8月22日



グラム染色は、すべての微生物学者が習得すべき重要な手順です。検査室では、サンプルの品質のスクリーニングから細菌性髄膜炎などの病気の迅速な推定診断まで、さまざまな理由でグラム染色を行います。

グラム染色を実行する方法

グラム染色を実行するための5つの基本手順は次のとおりです。

1. サンプルをスライドに固定する
2. 一次染色、クリスタルバイオレットでスライドを染色します。
3. 汚れをヨウ素で処理します。
4. 塗抹標本に脱色剤を優しく塗り、サフラニンで対比染色します。
5. 黄色ブドウ球菌などのグラム陽性微生物は青紫色に見えます。大腸菌などのグラム陰性微生物はピンクがかった赤に見えます。詳細については、MicrobeOnline のグラム染色の詳細ガイドをご覧ください。

グラム染色のベストプラクティス

以下のベストプラクティスに従って、グラム染色技術を完成させてください。

1. 塗抹標本を多くすぎないでください。そうすると、目的の構造や生物を見ることができなくなる可能性があります。
2. 入ってくる菌株と試薬を常にテストしてください。製品は、出荷または保管中に不利な条件にさらされた場合、期待どおりに動作しない場合があります。
3. 新鮮な培地を使用してください。24時間以内でなければなりません。グラム染色反応は、古い培地ではさまざま反応が起こります。
4. 固定する前にスライドを完全に空気乾燥させます。
5. 熱またはメタノールを使用して、スライド上に標本を固定します。熱（炎など）を使用している場合は、過熱しないように注意してください。
6. 過度に脱色しないでください。サンプルの脱色が過剰であると、誤った結果になる可能性があります。塗抹標本に脱色剤を直接吹き付けしないでください。代わりに、スライドを斜めに持ち、脱色剤をスライド上に流します。スライドから流れ出る液体が透明になったら、脱色を停止します。脱色のステップには数秒しかかかりません。脱色剤を水で洗い流します。
7. 使用する間は試薬を閉じておいてください。
8. サンプルの表示に必要な適切な顕微鏡とレンズを使用してください。誤ったタイプの顕微鏡またはレンズを使用して染色を見ると、スライドの重要な詳細を見落とす可能性があります。
9. 顕微鏡のケアをします。承認されたクリーナーで顕微鏡を頻繁に掃除してください。指定された 100x 対物レンズにのみ浸漬オイルを使用してください。浸漬油は乾式顕微鏡でのみ使用してください。

Microbiologics 社 BLOG を翻訳しております。原文は下記リンクでご確認できます。※日本語訳は原文解釈の参考としてご利用下さい。

<https://blog.microbiologics.com/9-gram-staining-best-practices/>

ご不明点、ご質問、製品のお問い合わせに関してはレーベン・ジャパン株式会社までお気軽にお問い合わせ下さい。

レーベン・ジャパン株式会社 埼玉県越谷市川柳町 3-110-8

TEL : 048-961-1781 FAX : 048-961-1782

メールでのお問い合わせ : info@raven-japan.com

Microbiologics 社製品紹介 URL : <http://raven-japan.com/>